

相次ぐ！集落営農法人の立ち上げ

中山間地域は過疎化や高齢化により、美田を守ることが難しくなってきました。加えて、米価の下落や農政の大変革期を迎え、耕作放棄地の発生も懸念されています。このような地域では、集落みんなで協力して機械の共同購入・共同利用など、効率良く農業を行う「集落営農」が営まれてきています。

現在では更に、農地や生産はもちろん、販売・経理まで集落が一元管理する法人化へと移行する形態が増えつつあります。そうした中、平成26年1月に日南町で3集落の農事組合法人が設立しました。

河上集落の「農事組合法人かわかみ」、白谷集落の「農事組合法人ファーム白谷」、上萩山集落の「農事組合法人上萩山集落営農組合」は、いずれも水稻を中心として、自分達の農地は自分達で守るを理念に、今後経営していくこととなります。



問

日野振興局 日野農業改良普及所
電話 0859-72-20028

集落営農法人化のメリット

- ①農地の利用集積が可能になり、人的・機械的な作業効率が大幅に向上する。
- ②経営の一本化で機械・施設の償却費を削減できる。
- ③収穫した米の個人別仕分けが不要で、乾燥・調整・保管等の作業の効率性が向上する。
- ④作業効率の向上により、他部門の導入や販売への取り組みなど、経営の多角化が可能。
- ⑤対外的・社会的な信用力が向上し、後継者の円滑な確保や就農者の受け皿となる。

日野郡のおいしい旬を伝えます！

少し気が早いですが、山菜の芽吹きが楽しみな季節となります。自然豊かな日野郡は山菜の宝庫です。山や野にはたくさん山菜が自生しています。

フキノトウ、タラの芽、フキ、ごごみなど共通するのが苦味でしょう。料理の世界では、「春の血には苦味盛れ」と言います。その苦味成分が、冬の間に私たちの体にたまった老廃物を除去する効果（デトックス）があるとされます。苦味成分のポリフェノールやアルカロイド類は、抗酸化作

わらび…ビタミンB2、ビタミンE、食物繊維が多いと言われます。

タラの芽…カリウムを多く含む他、リン、鉄分などのミネラルを含んでいます。カロチンも豊富と言われます。

ふきのとう…カロチン、ビタミンB1、カリウムなどミネラル分が豊富と言われます。

(出典：野菜の便利帳)

3月の旬 山菜

用や新陳代謝を促進する作用が含まれているので理にかなった食材と言えるでしょう。

最近では各地で自生するものだけでなく、地域の気象条件を生かして、特産化を目指して出荷用に栽培され、加温による早期出荷の取り組みも増えています。

日野郡では、江府町のタラの芽のふかし栽培などの取り組みが行われています。



“ごごみ”のふかし栽培



江府町農産物直売所「みちくさ」における販売風景

問

日野振興局 日野農業改良普及所
電話 0859-72-20026